

3 設立者の挨拶



設立者 木原崇雲

このたび私の多年の念願であった公益法人の設立が実現してこんなに嬉しいことはありません。

この財団は、山林の大きな功德と、年ごとに得られるその収益を永遠に国家社会のためにお役に立てることが目的であります。

この4月、図らずも、私の最もよい協力者であった妻が他界しましたので、その菩提をともらいたいと思って、急いで作って頂いたものです。

私は、この財団は永遠に発展するものと信じています。年々適切な公益事業を行なう一方、財団の基礎をなす山林を充実させていかなければな

りませんから、国土と自然のある限り、この財団は発展を続け、百年、千年と時の経つにつれて大きなものとなることでしょう。

この財団が、このように無事に誕生したのは、神仏のお導きと、多くの方々の心からのご援助によるものでありましてまことに感謝にたえません。

財団は、生れたばかりで、これから各方面のご理解とご協力を仰いでいかなければなりません。どうぞ微意のあるところをお汲みとり下さいまして、今後この財団が健全に発展してゆきますようにお力添え下さることを皆様に切にお願いいたします。

昭和41年12月7日

設立者 木原崇雲

「財団法人木原営林大和事業財団」より転載